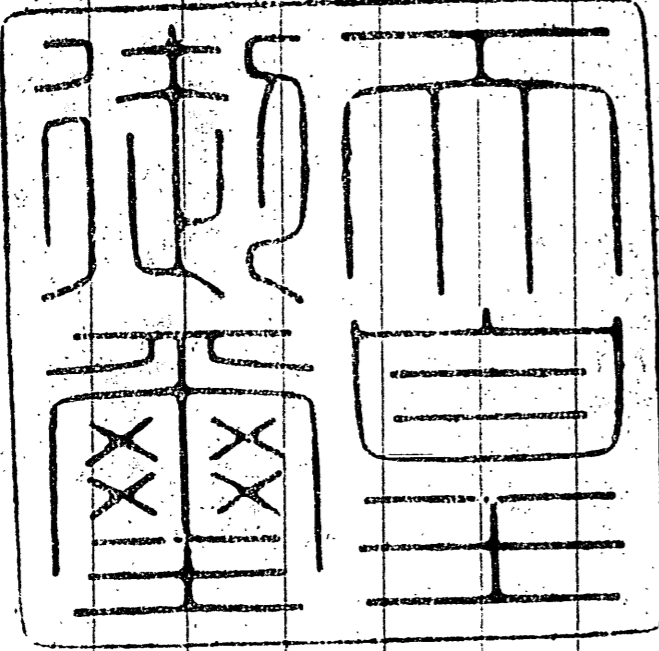


法律第十一號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル生命保險中央
會法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和二十年二月十三日

内閣總理大臣 小磯 國 昭
大藏大臣 石 渡 忠 吉

法律第十一號

生命保險中央會法

第一章 總則

第一條 生命保險中央會ハ生命保險制度ノ適切ナル運営ニ資スルコトヲ目的トス

生命保險中央會ハ法人トス

第二條 生命保險中央會ハ主タル事務所ヲ東京都ニ置ク

生命保險中央會ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ必要ノ地ニ從タル事務所ヲ設置スルコトヲ得

第三條 生命保險中央會ハ保險會社其ノ他主務大臣ノ指定スル者ヲシテ業務ノ一部ヲ取扱ハ

シムルコトヲ得

第四條 生命保險中央會ノ基金ハ千五百萬圓トシ之ヲ三十萬圓ニ分チ一口ノ出資金額ヲ五十

圓トス

第五條 政府ハ千四百五十萬圓ヲ生命保險中央會ニ出資スベシ

前項ノ出資ハ國債證券ヲ交付シテ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第六條 生命保險中央會ハ出資ニ對シ基金證券ヲ發行ス

基金證券ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 出資者ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得

第八條 生命保險中央會ハ定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定スベシ

一 目的

二 名稱

三 事務所ノ所在地

四 基金及資産ニ關スル事項

五 役員ニ關スル事項

六 業務及其ノ執行ニ關スル事項

七 經理ニ關スル事項

八 公告ノ方法

定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第九條 生命保險中央會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十條 生命保險中央會ニハ營業稅ヲ課セズ

生命保險中央會ハ其ノ行フ信託業務ニ付テハ租稅ニ關スル法令ノ適用ニ關シ之ヲ信託會社ト看做ス

第十一條 生命保險中央會ニ付解散ヲ必要トスル事由發生シタル場合ニ於テ其ノ處置ニ關シテハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 生命保險中央會ニ非ザル者ハ生命保險中央會又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用フルコトヲ得ズ

第十三條 民法第四十四條、第五十條、第五十四條及第五十七條並ニ非訟事件手續法第三十五條第一項ノ規定ハ生命保險中央會ニ之ヲ準用ス

第二章 役員

第十四條 生命保險中央會ニ役員トシテ理事長副理事長各一人、理事三人以上、監事二人以上及評議員若干人ヲ置ク

第十五條 理事長ハ生命保險中央會ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副理事長ハ定款ノ定ムル所ニ依リ生命保險中央會ヲ代表シ理事長ヲ輔佐シテ生命保險中央

會ノ業務ヲ掌理シ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ生命保險中央會ヲ代表シ理事長及副理事長ヲ輔佐シテ生命保險中央會ノ業務ヲ掌理シ理事長及副理事長共ニ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長及副理事長共ニ缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

監事ハ生命保險中央會ノ業務ヲ監査ス

評議員ハ生命保險中央會ノ業務ニ關スル重要事項ニ付理事長ノ諮問ニ應ジ又ハ理事長ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

理事長ハ主務大臣ノ定ムル事項ニ付テハ評議員ニ諮問スベシ

第十六條 理事長、監事及評議員ハ主務大臣之ヲ命ズ

副理事長及理事ハ理事長ノ推薦シタル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

理事長、副理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

六

第十七條 理事長、副理事長及理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ從タル事務所ノ業務ニ關シ一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スル代理人ヲ選任スルコトヲ得

第十八條 理事長、副理事長及理事ハ他ノ職業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三章 業務

第十九條 生命保險中央會ハ左ノ業務ヲ行フ

一 生命保險ニ於ケル戰爭危險(戰爭其ノ他ノ變亂ニ因ル死亡ヲ謂フ以下同シ)ノ再保險ノ引受

二 戰爭死亡傷害保險法ニ依ル保險ノ引受

三 標準下體生命保險ノ引受及第一號ニ掲グルモノヲ除クノ外標準下體生命保險ノ再保險

ノ引受

四 第一號及前號ニ掲グルモノヲ除クノ外生命保險ノ再保險ニ關スル取引

五 前各號ノ業務ニ附帶スル業務

前項第一號ノ再保險ノ引受ヲ爲ス金額ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 生命保險中央會ハ信託業法ニ拘ラズ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ支拂フ保險金ニ付

信託ノ引受ヲ爲ス業務ヲ行フコトヲ得

信託業法第九條及第十條ノ規定ハ生命保險中央會ガ前項ノ業務ヲ行フ場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條 生命保險中央會ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前二條ノ業務ノ外生命保險中央會ノ目的達成上必要ナル業務ヲ行フコトヲ得

第二十二條 生命保險中央會ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ外國保險會社ニ對シ出資ヲ爲シ又ハ外國保險會社ト生命保險ノ再保險ニ關スル取引ヲ爲スコトヲ得

七

第二十三條 主務大臣ハ生命保險中央會ノ目的達成上必要アリト認ムルトキハ生命保險中央會ニ對シ必要ナル業務ノ施行ヲ命ズルコトヲ得

第二十四條 生命保險中央會ハ生命保險會社ノ業務及財産ノ管理ヲ爲シ又ハ生命保險會社ヨリ保險契約ノ移轉ヲ受クルコトヲ得

業務及財産ノ管理並ニ保險契約ノ移轉ニ關スル保險業法ノ規定ハ其ノ性質ノ許サザルモノヲ除クノ外前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

生命保險中央會ガ保險業法第五條第一項但書ノ規定ニ依リ信託業務ヲ營ム生命保險會社ヨリ保險契約全部ノ移轉ヲ受ケタルトキハ生命保險中央會ハ當該生命保險會社ノ信託ニ關スル權利義務ヲ承繼ス

信託業法第十六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條 主務大臣ハ生命保險中央會ノ目的達成上必要アリト認ムルトキハ保險會社ニ對

シ生命保險中央會ノ業務ノ一部ヲ取扱ハシメ其ノ他生命保險中央會ノ業務ニ協力セシムル爲必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 保險會社ハ生命保險契約ニ別段ノ定アルトキト雖モ命令ヲ以テ定ムル金額ニ付テハ戰爭危險ニ因ル保險金ノ支拂ノ責ヲ免ルルコトヲ得ズ

保險會社ハ其ノ引受ケタル生命保險ニ於ケル戰爭危險ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ生命保險中央會ノ再保險ニ付スベシ

第四章 經理

第二十七條 生命保險中央會ノ事業年度ハ四月ヨリ翌年三月迄トス

第二十八條 生命保險中央會ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ戰爭危險ノ保險ニ關スル業務ニ基ク收支ト其ノ他ノ收支トヲ區分經理スベシ

前項ノ戰爭危險ノ保險ニ關スル業務ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十九條 生命保險中央會ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ設立ノ時及毎事業年度ノ初ニ於テ
財産目錄、貸借對照表及損益計算書ヲ作成シ主務大臣ノ承認ヲ受クベシ

第三十條 生命保險中央會戰爭危險ノ保險ニ關スル業務以外ノ業務ニ因リテ得タル剩餘金ノ
處分ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三十一條 生命保險中央會ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ戰爭危險ノ保險ニ關スル業務以外
ノ業務ニ因リテ得タル剩餘金中ヨリ準備金ノ積立ヲ爲スベシ

第三十二條 生命保險中央會ハ毎事業年度ニ於ケル配當シ得ベキ剩餘金額ガ政府以外ノ出資
者ノ拂込出資金額ニ對シ年百分ノ五ノ割合ヲ超過セザルトキハ政府ノ出資ニ對シ剩餘金ノ
配當ヲ爲スコトヲ要セズ

生命保險中央會ハ毎事業年度ニ於ケル配當シ得ベキ剩餘金額ガ拂込出資金額ニ對シ年百分
ノ五ノ割合ニ達セザル場合ニ於テ政府以外ノ出資者ノ拂込出資金額ニ對シ年百分ノ五ノ割

合ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ヲ政府ニ配當スベシ

第三十三條 生命保險中央會ハ戰爭危險ノ保險ニ關スル業務ニ因リテ得タル剩餘金ヲ特別ノ
準備金トシテ積立ツベシ

前項ノ準備金ハ之ヲ戰爭危險ノ保險ニ關スル業務ニ因リテ受ケタル損失ノ填補ニ充ツベシ

前項ノ規定ニ依ル損失ノ填補ニ充ツルモ仍第一項ノ準備金ニ剩餘アルトキハ之ヲ命令ノ定
ムル所ニ依リ戰爭危險ノ保險ニ關スル業務ニ因リテ受ケタル損失ニ對シ政府ヨリ受ケタル
補償金ノ償還ニ充ツベシ

前項ノ規定ニ依ル補償金ノ償還ニ充ツルモ仍第一項ノ準備金ニ剩餘アルトキハ之ヲ第二十
六條第二項ノ規定ニ依リ生命保險中央會ノ再保險ニ付シタル保險會社ニ對シ主務大臣ノ認
可ヲ受ケタル方法ニ依リ返戻スベシ

第三十四條 政府ハ生命保險中央會ニ對シ戰爭危險ノ保險ニ關スル業務ニ因リテ受ケタル損

失ヲ補償ス

政府ハ生命保險中央會ニ對シ第二十三條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ施行ヲ命ジタル業務ニ因リテ受ケタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得
前項ノ契約ハ之ニ基キ交付スベキ補償金ノ總額ガ帝國議會ノ協贊ヲ經タル金額ヲ超エザル
範圍内ニ於テ之ヲ爲スベシ

第一項及第二項ノ損失ヲ決定スル基準其ノ他損失補償ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十五條 前條第一項及第二項ノ損失及其ノ額ハ生命保險審査會之ヲ決定ス

生命保險審査會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十六條 政府ハ生命保險中央會ノ借入金中五億圓ヲ限り其ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付保證スルコトヲ得

第三十七條 法人税法ニ依ル所得及臨時利得税法ニ依ル利益ノ計算ニ付テハ第三十四條ノ補償金ハ總益金ヨリ、同條ノ損失ハ總損金ヨリ之ヲ控除ス

第五章 監督

第三十八條 生命保險中央會ハ主務大臣之ヲ監督ス

第三十九條 生命保險中央會借入金ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第四十條 主務大臣ハ生命保險中央會ノ目的達成上必要アリト認ムルトキハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第四十一條 生命保險中央會ハ業務開始ノ際保險約款、業務ノ方法、保險料及責任準備金ノ算出方法並ニ財産利用ノ方法ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同
ジ

主務大臣ハ保險契約者、被保險者又ハ保險金ヲ受取ルベキ者ノ利益ヲ保護スル爲テ必要

アリト認ムルトキハ前項ノ變更認可ノ際現ニ存スル保險契約ニ付テモ亦將來ニ向ツテ其ノ變更ノ效力ノ及ブモノト爲スコトヲ得

前項ノ處分アリタルトキハ生命保險中央會ハ其ノ旨及變更ノ要旨ヲ公告スベシ

第四十二條 主務大臣ハ生命保險中央會ニ對シ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、當該官吏ヲシテ検査ヲ爲サシメ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十三條 主務大臣ハ生命保險中央會監理官ヲ置キ生命保險中央會ノ業務ヲ監視セシム

第四十四條 生命保險中央會監理官ハ何時ニテモ生命保險中央會ノ業務及財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

生命保險中央會監理官ハ何時ニテモ生命保險中央會ニ命ジ業務及財産ノ狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

生命保險中央會監理官ハ生命保險中央會ノ諸般ノ會議ニ出席シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第四十五條 生命保險中央會ノ役員ノ行爲ガ法令、定款若ハ主務大臣ノ命令若ハ處分ニ違反シタルトキ若ハ公益ヲ害シタルトキ又ハ生命保險中央會ノ目的達成上特に必要アリト認ムルトキハ主務大臣ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第六章 罰則

第四十六條 當該官吏、生命保險中央會ノ職員、生命保險中央會ノ業務ノ取扱ヲ爲ス者(其ノ者ガ法人ナルトキハ當該業務ニ従事スル職員)又ハ此等ノ職ニ在リタル者生命保險中央會ノ戰爭危險ノ保險ニ關スル業務上ノ祕密ニシテ職務上知得タルモノヲ漏泄シ又ハ竊用シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第四十七條 左ノ場合ニ於テハ生命保險中央會ノ理事長、副理事長、理事又ハ監事ヲ千圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法(第二十四條第二項ニ於テ準用スル保險業法ノ規定ヲ除ク)ニ基キ主務大臣ノ認可

ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二 本法ニ規定セザル業務ヲ行ヒタルトキ

三 主務大臣ノ命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

四 第二十條第二項ニ於テ準用スル信託業法第九條ノ規定又ハ同條ニ基ク命令ニ違反シテ信託ニ付補填又ハ補足ノ契約ヲ爲シタルトキ

五 第二十條第二項ニ於テ準用スル信託業法第十條ノ規定ニ違反シテ信託財産ヲ固有財産ト爲シタルトキ

六 信託法第二十八條ノ規定ニ依リテ爲スベキ信託財産ノ管理ヲ爲サザルトキ

七 信託法第三十九條ニ規定スル事務ノ處理若ハ計算ヲ爲サズ又ハ財産目錄ヲ作成セザルトキ

八 正當ノ事由ナクシテ信託法第四十條ノ規定ニ依ル閱覽ヲ拒ミ又ハ説明ヲ爲サザルトキ

九 第四十四條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル生命保險中央會監理官ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ

若ハ忌避シ又ハ其ノ命ズル報告ヲ怠リ若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタルトキ

第四十八條 左ノ場合ニ於テハ生命保險中央會ノ理事長、副理事長、理事又ハ監事ヲ五百圓以

下ノ過料ニ處ス

一 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ違反シテ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二 本法(第二十四條第二項ニ於テ準用スル保險業法第九十四條第一項及第九十八條ノ規定ヲ含ム)ニ依ル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

三 第二十九條ノ規定ニ依ル書類ヲ作成セザルトキ、其ノ書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ書類ニ付主務大臣ノ承認ヲ受ケザルトキ

第四十九條 左ノ場合ニ於テハ保險會社ノ取締役、監査役、清算人若ハ此等ニ準ズル者又ハ支配人ヲ五千圓以下ノ過料ニ處ス

一 第二十四條第二項ニ於テ準用スル保險業法第九十四條ノ規定又ハ同條ニ基ク勅令ニ違反シテ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二 第二十四條第二項ニ於テ準用スル保險業法第九十四條第一項、第九十八條、第四百條第三項、第四百十二條第一項又ハ第四百十六條ノ規定ニ依ル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

三 本法(第二十四條第二項ニ於テ準用スル保險業法第一百一條第四項及第二百二十三條ノ規定ヲ含ム)ニ基キテ爲ス主務大臣ノ命令ニ違反シタルトキ

四 第二十四條第二項ニ於テ準用スル保險業法第一百十二條ノ規定ニ違反シテ保險契約移轉ノ手續ヲ爲シタルトキ

五 第二十四條第二項ニ於テ準用スル保險業法第一百三條又ハ第四百十五條ノ規定ニ違反シテ保險契約、財産ノ處分又ハ債務ヲ負擔スベキ行爲ヲ爲シタルトキ

六 第二十六條第三項ノ規定ニ違反シタルトキ

前項第六號ノ罰則ハ保險會社ニ付業務及財産ノ管理ノ委託アリタル場合ニ於テ其ノ委託アリタル業務ニ付テハ管理ノ受託會社ノ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員又ハ支配人ニ業務及財産ノ管理ノ命令アリタル場合ニ於テハ保險管理人(保險管理人會社ナルトキハ其ノ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員又ハ支配人)ニ之ヲ適用ス

第五十條 第十二條ノ規定ニ違反シテ生命保險中央會又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用ヒタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

第七章 雜則

第五十一條 本法ヲ朝鮮又ハ臺灣ニ施行スル場合ニ於テ必要アルトキハ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得

附則

第五十二條 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十三條 政府ハ設立委員ヲ命ジ生命保險中央會ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第五十四條 協榮生命再保險株式會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ商法第三百四十三條ニ定ムル株主總會ノ決議ヲ以テ生命保險中央會ニ吸收セララルコトヲ得

協榮生命再保險株式會社前項ノ決議ヲ爲シタルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第五十五條 設立委員ハ定款ヲ作成シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ協榮生命再保險株式會社ノ株式ニ對シ同株式四株ニ付全額拂込濟出資一口ノ割合ヲ以テ生命保險中央會ノ出資ヲ引當ツベシ

第五十六條 設立委員ハ前條第二項ノ引當ヲ終リタルトキハ主務大臣ニ對シ設立ノ認可ヲ申請スベシ

前項ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク出資ノ拂込ヲ政府ニ稟請スベシ

第五十七條 前條第二項ノ拂込完了シタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク其ノ事務ヲ生命保險中央會理事長ニ引渡スベシ

理事長前項ノ事務ノ引渡ヲ受ケタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ

生命保險中央會ハ前項ノ登記ヲ爲スニ因リテ成立ス

第五十八條 生命保險中央會ノ成立ニ因リ協榮生命再保險株式會社ハ之ニ吸收セララルモノトシ協榮生命再保險株式會社ノ權利義務ハ生命保險中央會ニ於テ之ヲ承繼ス

生命保險中央會方前項ノ規定ニ依リ協榮生命再保險株式會社ノ權利義務ヲ承繼シタルニ因リ行フベキ業務中第十九條第一項ノ業務以外ノ業務ハ之ヲ第二十一條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル業務ト看做ス

第五十九條 協榮生命再保險株式會社ノ株式ヲ目的トスル質權其ノ他ノ權利ハ其ノ株式ニ對シ引當テラレタル出資ノ持分ノ上ニ存在ス

第六十條 第五十八條第一項ノ規定ニ依ル協榮生命再保險株式會社ヨリ生命保險中央會ヘノ有價證券ノ移轉ニ付テハ有價證券移轉税ヲ課セズ

第六十一條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外生命保險中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十二條 第五十四條第一項ノ決議ナキ場合又ハ其ノ決議ガ效力ヲ生ゼザル場合ニ於テハ生命保險中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十三條 登録税法中左ノ通改正ス

第十九條第七號中「戰時金融金庫」ノ下ニ「生命保險中央會」ヲ「戰時金融金庫法」ノ下ニ「生命保險中央會法」ヲ加フ

第六十四條 印紙税法中左ノ通改正ス

第五條第六號ノ三ノ二ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

六ノ三ノ三 生命保險中央會ノ發スル基金證券

第六十五條 戰爭死亡傷害保險法中左ノ通改正ス

第二條第一項中「政府ノ指定スル保險會社」及「當該保險會社」ヲ「生命保險中央會」ニ改メ同條第二項ヲ削ル

第三條第一項中「保險會社」ヲ「生命保險中央會」ニ改ム

第六條第一項中「保險會社」ヲ「生命保險中央會、生命保險中央會ノ戰爭死亡傷害保險ニ關スル業務ノ取扱ヲ爲ス保險會社」ニ、同條第二項中「保險會社」ヲ「生命保險中央會ノ事務所、生命保險中央會ノ戰爭死亡傷害保險ニ關スル業務ノ取扱ヲ爲ス保險會社」ニ改ム

第七條中「保險會社」及「當該保險會社」ヲ「生命保險中央會」ニ改ム

第八條中「營業税法ニ依ル純益」ヲ削リ「保險會社」ヲ「生命保險中央會」ニ改ム

第十條 本法ヲ朝鮮又ハ臺灣ニ施行スル場合ニ於テ必要アルトキハ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ

爲スコトヲ得

第六十六條 保險業法中左ノ通改正ス

第五條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ生命保險事業ヲ營ム會社ハ信託業法ニ拘ラズ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ支拂フ保險金ニ付信託ノ引受ヲ爲ス業務ヲ營ムコトヲ得

同條ニ左ノ二項ヲ加フ

前項ノ認可ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第五條ノ二 信託業法第九條及第十條ノ規定ハ保險會社ガ前條第一項但書ノ規定ニ依リ信託業務ヲ營ム場合ニ之ヲ準用ス

第五條ノ三 信託業務ヲ營ム保險會社ハ其ノ信託業務ニ付テハ租税ニ關スル法令ノ適用ニ

關シ之ヲ信託會社ト看做ス

第十條第一項中「第一條第二項」ノ下ニ「又ハ第五條第二項」ヲ加フ

第十八條ノ二 信託業務ヲ營ム保險會社ガ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ商法第百條第

一項ノ規定ニ依リテ爲スベキ催告ハ金錢信託ノ受益者ニ對シテハ之ヲ爲スコトヲ要セズ

第七十三條第一項中「商法第五十六條第三項」ノ上ニ「第十八條ノ二」並ニ「三」ヲ加フ

第一百十二條ニ左ノ一項ヲ加フ

保險契約ヲ移轉セントスル會社ガ信託業務ヲ營ムモノトナルトキハ第一項ノ公告ニハ受益者ニシテ異議アラバ第二項ノ期間内ニ之ヲ述ブベキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第六章中第三百三十一條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第三百三十二條ノ二 信託業務ヲ營ム保險會社ガ保險契約全部ノ移轉又ハ合併ヲ爲シタルト

キハ保險契約ノ移轉ヲ受ケタル保險會社又ハ合併後存續シ若ハ合併ニ因リテ設立シタル

二六
保險會社ハ保險契約ノ移轉又ハ合併ニ因リテ消滅シタル保險會社ノ信託ニ關スル權利義務ヲ承繼ス

信託業法第十六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十二條第六號中「第一條第二項」ノ下ニ「又ハ第五條第二項」ヲ加フ

第二百五十二條ノ二 信託業務ヲ營ム保險會社ノ役員又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ千圓以下ノ過料ニ處ス

一 第五條ノ二ニ於テ準用スル信託業法第九條ノ規定又ハ同條ニ基ク命令ニ違反シテ信託ニ付補填又ハ補足ノ契約ヲ爲シタルトキ

二 第五條ノ二ニ於テ準用スル信託業法第十條ノ規定ニ違反シテ信託財産ヲ固有財産ト爲シタルトキ

三 信託法第二十八條ノ規定ニ依リテ爲スベキ信託財産ノ管理ヲ爲サザルトキ

四 信託法第三十九條ニ規定スル事務ノ處理若ハ計算ヲ爲サズ又ハ財産目錄ヲ作成セザルトキ

五 正當ノ事由ナクシテ信託法第四十條ノ規定ニ依ル閱覽ヲ拒ミ又ハ説明ヲ爲サザルトキ

第六十七條 國民貯蓄組合法中左ノ通改正ス

第二條第一項第三號中「信託業務ヲ營ム銀行」ノ下ニ「生命保險中央會若ハ保險會社」ヲ加

第六十八條 第六十五條ノ規定施行前成立シタル戰爭死亡傷害保險法ニ依ル保險契約及同條ノ規定施行前爲シタル行爲ノ處罰ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル